准教授
池島 祥文
イケジマ ヨシフミ

大学院国際社会科学研究院　国際社会科学部門
経済学部　経済学科
地域実践教育研究センター
ikejima@ynu.ac.jp

農学
社会経済農学

社会・開発農学

都市農業
地産地消
GIS（地理情報システム）
地域経済循環
企業ビッグデータ

[研究概要]

地域農業や地域経済に関する研究を進めています。近年では、農業が地域の豊かな生活環境や地域での経済循環に果たす役割について着目し、都市農業における地産地消の実態から、その経済効果や経済循環の空間的展開などを分析しています。また、地域経済循環の可視化にも取り組んでおり、経済取引を通じた資金の域外への流出、域内への流入を定量的に把握するモデルの開発を試みています。各地域が具体的に、どの市町村・都道府県（に立地する企業）と経済的な取引を展開しているのか、どこへの資金流出が多いのかどうかを明らかにしようとしています。

[アドバンテージ]

生産者と消費者のつながりを空間データとして取り扱い、GIS（地理情報システム）を用いて、近接性や取引ネットワークを可視化させることで、より実態に即した分析を可能としています。また、地域経済循環の可視化においては、独自なデータセット構築を通じたモデルの開発や、企業ビッグデータ（(株)帝国データバンクとの共同研究）を用いて、より精緻な地域間での経済取引を反映させた分析に取り組んでいます。これまで十分明らかにされてこなかった地域経済の動向がより具体的に、より可視的に、解析できるように研究をしています。

[事例紹介]

地産地消の分析においては、横浜市のJA直売所を素材とし、「地消」の空間的分析を進めました。

また、地域からの資金流出の様子を、福岡県を素材に可視化した図からは、域外のなかでも、首都圏との結びつきも強い点が浮かび上がります。

■ 相談に応じられるテーマ

地域の農業振興のための基礎調査
地域の経済循環構造を明らかにするための基礎調査

■ 主な所属学会

日本農業経済学会
日本地域経済学会
政治経済学・経済史学会

■ 主な論文

「ローカルフードシステムによる地域経済循環の効果分析」『農業・農協問題研』第59号, 24-40ページ, 2016.

「食料品のアクセス改善にむけて：事前復興としてのフードオアシス」『県民総力戦で創る事前復興計画』, 125-133ページ, 2015.

■ 主な著書

『国際機関の政治経済学』京都大学学術出版会, 2014.

「開発援助政策を考える：誰のための開発援助か？」岡田知弘・岩佐和幸編『入門現代日本の経済政策』法律文化社, 2016.

■ 主な地域活動

箱根町行財政運営を考える町民会議アドバイザー（箱根町）
箱根町行財政改革有識者会議委員（箱根町）